



神楽「剣の舞」を神前に奉納

木山神宮秋季大祭

600年の歴史を持つ木山神宮(宮園)で10月17日、秋季大祭の神事が執り行われ、氏子総代や関係者16人が参列しました。神前では神をお迎えするための神楽「剣の舞」が木山肥後神楽保存会によって奉納され、家内安全と五穀豊穡が祈願されました。

神楽「剣の舞」は十七段ある木山肥後神楽のうち的一段。明治の末期まで一時期途絶えていた木山肥後神楽は故中川一郎氏(寺迫)によって伝承され、現在も木山肥後神楽保存会によって受け継がれています。



「剣の舞」を奉納する木山肥後神楽保存会のみなさん



車いすを使った技巧走でじゃんけんをする選手

交流と親睦を楽しんだ大運動会

第32回益城町福祉スポーツ大会

社会福祉関係諸団体および福祉施設入所者の親睦を深めることを目的とした益城町福祉スポーツ大会が、10月24日、町総合体育館メインアリーナで開催されました。今回で32回目を迎える福祉スポーツ大会には、町内の福祉・介護施設や老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会などから約570人が参加。パン食い競走や大玉転がし、対抗玉入れなどの会場全面を使ったスポーツ競技では参加者から選手に声援が送られ、各種団体間の交流が行われました。

今年8人目のご長寿誕生を祝福

さかたうめの
坂田梅野さんが100歳表彰

寺迫にお住まいの坂田梅野さんが10月22日、めでたく100歳の誕生日を迎えられ、同月23日、表彰を受けられました。

表彰当日、ご家族に祝福されながら、町から贈られる表彰状と敬老祝い金を西村町長から受け取られました。表彰に対して坂田さんの娘の軸丸雅子さんは「20年以上前から認知症の介護が始まりました。最初は大変でしたが、今は気持ちにも余裕ができとても楽しい。もっと長生きしてもらえれば」と百寿を喜びました。



表彰状を受け取られる坂田さん(写真中央)とご家族のみなさん

今月の輝く笑顔

